

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成24年度(2012)活動行事記録

岐阜市歴史博物館 自主研修会 「黒野城とその周辺」を案内

日時 平成24年6月19日(火) 午前9時30分～12時頃 雨天
 案内者 郷孝夫・河口耕三・名知勲・郷和彦・平井昭彦・浅野正剛・松井直樹(交通・他2名)
 ・信田朝次・望月良親

内容 岐阜市歴史博物館の戦国G・近世・近現代Gのボランティアの皆さん約30名が平成24年度第1回目の館外研修として「黒野城とその周辺」を研修に来られた。あいにくの悪天候(雨天)であったが、案内役も研修の皆さんも初の体験であった・交通安全に2名の御協力。終了後、反省会を貴久家で昼食。研究会員の他、岐阜市教育委員会事務局 社会教育課の鳥本氏も参加。(長良川文化フォーラムが今年度末に研修を予定したいと意向あり)

配布資料 「黒野城下町遺跡 散策予定コース」地図・「黒野城があった時代」年表・「加藤氏一族」系図・「タンポポ殿と国替え新聞」記事及びお茶の「ペットボトル」



黒野城跡に集合・挨拶と概要説明



観音堂前



光順寺の山門を見学



城下町に案内板設置

日時 : 平成24年7月10日
場所 : あそか苑前・西町交差点

2012.10
黒野城と加藤貞泰公研究会

調査した歴史や遺跡などを住民や見学者に伝える案内板の設置が望まれる。昨年度は、黒野城跡1箇所にも本丸の概要を解説した案内板を設置したが、今年度は城下町にゆかりのある2箇所に設置しました。



設置状況あそか苑前 平成24年7月10日



「黒野城ゆかりの寺院・堂」を解説 (大きさ 幅1000mm・高さ850mm)



「案内板」の裏側
城主加藤家の蛇の目紋入り



設置状況 西町交差点栗本家内平成24年7月10日



「楽市の町屋敷跡」を説明 (大きさ 幅600mm・高さ510mm)

「黒野城」リーフレットの発行

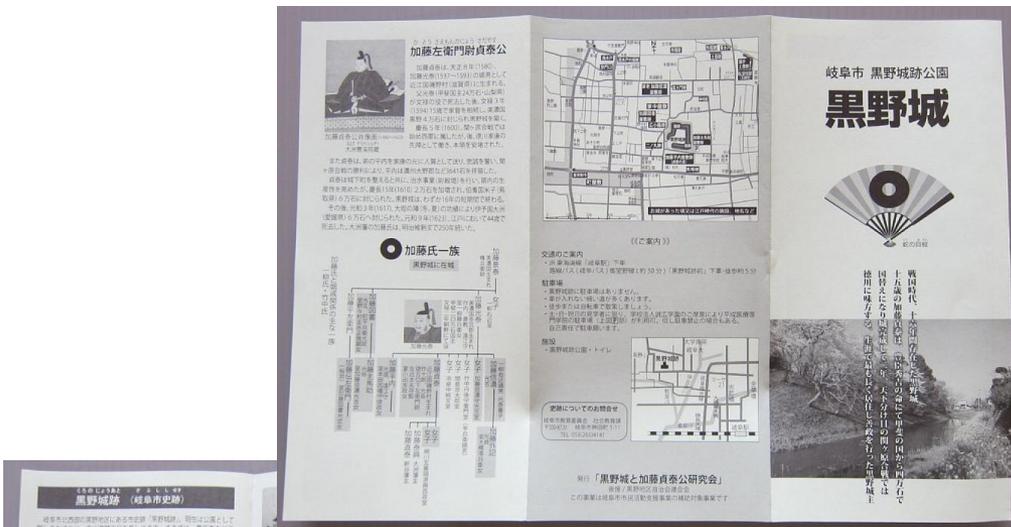
日時：平成24年8月中旬

2012.10.20
黒野城と加藤貞泰研究会

- ・昨年度、A2サイズ・カラー印刷の「散策マップ」を発行し好評を得たが、簡易サイズで黒野城の概要が分かる案内書が望まれたため、今年度の事業で制作・発行を8月中旬に行った。
- ・散策マップとひと味違った内容で、B4版・単色印刷で完成した。
- ・黒野城には駐車場が無いので、学校法人誠広学園のご厚意により駐車場を土・日・休日に限り利用させて頂くことを許可頂き掲載した。また、近くの飲食店に寄附支援を頂き「当店で昼食を利用のお客様は黒野城跡見学の駐車場としてご利用下さい。」のパンフレットを挟み、黒野城弁当の新メニューを設け、地域の活性化・発展を図る企画も実地した。
- ・リーフレットは、地域など関係先に配付した。
- ・黒野城跡には、「ご自由にお取り下さい」と表示箱を案内板下部に取付て、来訪者への案内資料として効果を目指した。



「黒野城」リーフレット
完成状態(表・裏)



「黒野城」リーフレット裏面



「黒野城」リーフレット表面

- ・印刷部数：8000部
- ・大きさ：B4三つ折り
- ・カラー：単色
- ・紙色：薄緑
- ・発行日：H24年8月～



黒野城跡に設置の案内
ボックス
H24年8月12日設置



案内ボックスの状態

黒野公民館「歴史講座」(大人向け) —黒野城と家臣団—

黒野城と加藤貞泰公研究会

・郷土歴史の研究活動の成果を公開し、郷土史を伝え、共有することで地域の歴史文化が普及することを目的に大人用の歴史講座を黒野公民館講座で行った。主に美濃への家臣団の歩みについて説明を行った。また、最近発見の史料(絵図・検地帳など)を初公開・展示し、歴史に関心を高めることを目的とした。この講座で「岐阜市市民活動支援事業」の今年度計画と行事日予定を公開し市民に周知する。

日時 : 8月11日(土) 19:30~21:00

場所 : 黒野公民館

参加者数 : 34名



写真1 講座状況

講演テーマ「黒野城と家臣団」

講師 研究会 河口耕三

- 1.写真で見る黒野城の面影
- 2.黒野城の年代
- 3.黒野城の絵図・検地帳(原本発見・公開)
- 4.黒野城・城郭の推定
- 5.加藤氏一族
- 6.加藤氏家臣団の歩み
- 7.黒野城の築城と寺院
- 8.黒野城での出来事・関ヶ原の合戦
- 9.黒野城下の人物
- 10.加藤氏家臣団のまとめ

以上のテーマをパワーポイント79枚の資料で1時間30分の講座を行う。

「岐阜市市民活動支援事業」の活動状況を説明

21:00~21:10

パワーポイントにて本年度計画・実績・今後の活動予定を参加者に説明 ↓



写真3 岐阜市市民活動状況を戸川事務局長から説明



写真4 会場に展示の「玉木英治氏所蔵の絵図3枚・検地帳1冊・伊東家軸、系図・玉木家系図・黒野城表示の包み紙」・「家中屋敷の推定図3枚」・「黒野城本丸の図」

- ・郷土史に関心が高い方々の参加者が主であった。研究成果物の公開を行い、郷土史の関心を高めた。
- ・市民活動状況を公開することで研究会員のモチベーションも上がり、事業計画の達成に向かって効果的であった。
- ・参加者が更に多数になるような案内方法の工夫が必要と感じた。



写真2 研究会員4名が今年春から製作し完成の鎧兜(紙製)初公開



写真5 講座配付資料



写真6 講座配付資料

—他配付資料—

・朝日新聞「タボボ殿様にお供」他

黒野公民館「歴史講座」(子供向け)ー黒野のお殿さまーの開催

黒野城と加藤貞泰公研究会

- ・子供向けとしての歴史講座は、講師の希望もあって初めての企画で黒野公民館講座として実施した。
- ・講演に先立ち「紙芝居:黒野のお殿様」を実演。第2部の子供向けのお話は、郷土歴史への関心や知識を高め、郷土愛をはぐくむことを目的として実施した。



写真1 講演状況 会員製作の鎧も展示



写真2 加藤光泰公の片鎌槍を紹介(手作り)

発行資料(紙芝居含む)

- ・演題内容と講師紹介
- ・読売、毎日新聞、中日ホームニュースの紙芝居記事、朝日新聞 タンポポ殿様にお供記事
- ・リーフレット配付

- ・子供対象は、研究会初めての講座で子供、大人にも良く分かり易い講座内容で、郷土歴史文化の普及に大変効果があった。
- ・子供向け講座であったが、子供よりも大人の方が参加者が多かった。
- ・講師は参加の子供たちに、郷土の黒野城の存在を誇りを持ち、君たちが大洲城のような城を再建してほしいと夢を伝え、未来に繋がる効果があった。

- ・次回の課題として、黒野小の多くの子供たちの参加を呼びかけるには、学校だけでなく校下の各種団体(例えば少年野球・ソフトボール・少女バレークラブ、その他)の指導者に理解を求め、参加をお願いするなどの方策も必要かと思えます。

日時 : 9月8日(土)
紙芝居の続き 14:00~15:15
場所 : 黒野公民館
参加者数 : 84名

講演テーマ「黒野のお殿さま」 講師 研究会 名知 勲氏

1. 黒野城と加藤貞泰公研究会の紹介
2. 貞泰公のお父さんはどんな人
3. 貞泰公の城作りと城下町
4. 関ヶ原合戦
5. 尉殿堤(じょうどのつつみ)
6. 加納の亀姫さま
7. 黒野より米子へそして大洲への国替え
8. 大洲市と大洲城
9. 黒野小学校のみなさんへのお願い
10. おわり



写真3

- ・長良川三川の洪水説明・尉殿堤の築堤で加納領が水害になり、亀姫の怒りでお国替えとなったお話
- ・大洲市から11月に黒野へ30名訪問がある予定。黒野のよい子の皆さん、大洲に負けない黒野になるように・・・

紙芝居「黒野のお殿さま」制作・実演

黒野城と加藤貞泰公研究会

- ・将来の担い手となる子供たちに郷土史を学び普及させるには、紙芝居が一つの方法と当会で企画した。絵は地元小学生が描いた方が歴史勉強や伝承にも大きいであろうという観点から、小学生、それを手引きしてくれる大学生、そして研究会の共同作業で紙芝居「黒野のお殿さま」の制作を行った。
- ・紙芝居の完成後、小学生による初の実演を公民館歴史講座で発表した。

・黒野小学校長・教頭・担任の先生方や岐阜大学教授・学生などのご協力もあり、絵を描く児童の有志、6年3学級から19名が名乗り。役割分担は、当会が下絵と文作成を担当した。本絵の指導は、岐阜大学教育学部美術部の学生ら15名が参加。夏休みの7月26日～28日の3日間、黒野小図書館で制作し、完成することができた。語り手有志9名が、8月27日同図書館でリレー式語りの練習をし、9月8日(土)、公開上演を行った。



写真1 黒野小にて絵の制作状況 夏休み7月26～28日



写真3 9月7日台紙作り(黒野会館)

＝会場＝

黒野会館
9月8日(土)
13:30～14:00

公開発表
参加人数84名

－内 訳－
子供 男 10人
女 16人
大人男 30人
女 29人

黒野小校長・担任の先生・父兄、地元や市内外からの参加者



写真4 実演状況 小6の9名による発表

枚数 : 全20枚
紙サイズ : 縦41cm×横57cm
実演時間 : 約15分
製作台数 : 原画1セット
黒野小1セット寄贈予定



写真5 完成した紙芝居(一部)



写真6 紙芝居実演状況 = 9月8日(土)黒野会館にて =

写真2 絵の制作状況
児童と大学生

- ・研究会では小学校・大学との合同作業は初の体験であった。特に制作段階で「交りっ子」の人たちや、多くの方たちとの交流があり、実演では児童及び親御さん等にも歴史文化を学んでもらうことが出来た。
- ・今後、校内で上級生が下級生に紙芝居を見せることが出来るように、舞台等1セットを黒野小に寄贈することになった。
- ・今回の初実演を期に老人ホーム等から依頼があれば、幼稚園など地域の未来に繋げる活動に結びつけたい。
- ・一つの紙芝居完成に終わらず、継続して郷土の歴史に関する紙芝居作りを来年度も目標にしたい。

2012.10.20
黒野城と加藤貞泰公研究会

「黒野っ子ひろば」 親子で歩こう 城跡ウオーク に研究会が案内役

日時 平成24年9月16日(日) 午前9時30分～12時
講師 黒野城と加藤貞泰公研究会 郷孝夫・河口耕三
(松井直樹さん、岡野正弘さんは主催者ゲームなどの役員で参加)
内容 黒野会館→下鶺飼多賀神社→光順寺→観音堂→伊藤家門→
城跡一周→お城クイズ5門とゲーム→多賀神社→多賀町馬頭観音→
熊野神社→国島家門→黒野会館
主催 黒野校区放課後 子供教室



観音堂前にて



城跡から多賀神社へ



参加者
・子供 6人
・大人保護者と役員 14人

講師の説明に耳を傾けた
のは、大人が中心となった。

国島家門の説明



黒野小学校に郷土の歴史「紙芝居」を寄贈

2012.10.20
黒野城と加藤貞泰公研究会

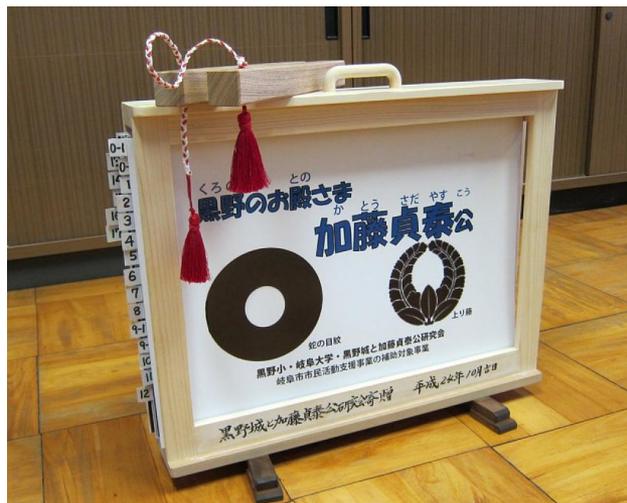
日時：平成24年10月1日(月)11時～12時
場所：黒野小学校 校長室

紙芝居「黒野のお殿さま」の制作から実演まで、ご協力とご支援を頂いた黒野小に研究会関係者が訪問し、紙芝居一式を林茂男校長に寄贈した。

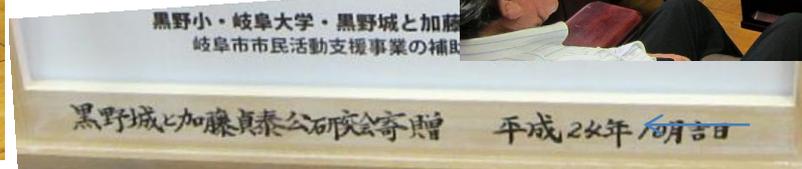
面会者：林茂男校長、正村仁教頭
訪問者：郷孝夫会長、郷和彦紙芝居担当部会長、浅野正剛、河口耕三
贈呈品目：紙芝居舞台・拍子木・紙芝居「黒野のお殿さま」(コピー版)
朗読原稿用紙・布バック(会員手作り)

子供たちが郷土歴史を学び、伝承していくことを目的に寄贈した紙芝居は、毎年、6年生が1年生に実演をしていくことになった。今回の小学校の先生・児童・岐阜大学・研究会の合同作業は、実現までに多くの関係者協力の賜もので、研究会としても大変すばらしい経験であった。

林校長や正村教頭は、実演までの活動と、今回の寄贈に大変喜ばれました。



←紙芝居の台枠と拍子木



←寄贈名



平野病院前「黒野城下町案内板」を設置・除幕式

2012.10.20
黒野城と加藤貞泰公研究会

研究会では「岐阜市市民活動支援事業の補助対象事業」にて、黒野城下町内に「案内板」の設置を計画、実施中です。

これらの活動実績などから、医療法人社団誠広会様のご理解を頂き、平野病院の一角に案内板の設置許可と費用の全額負担を賜ることになりました。このたび設置完了し、10月16日(火)朝8時30分から、誠広会会長平野恭弘・喜美子ご夫妻や平野病院の関係者、工事担当(有)サインタワー河合氏・信田市議(研究会顧問)・研究会(会長・幹事)が出席し、除幕式が行われました。岐阜市NPO・ボランティア協働センターも除幕式を見学されました。

平野会長はじめ杉本部長、堀内次長様など関係者のご協力に感謝申し上げます。又、平野恭弘事務所の労にも感謝申し上げます。案内板としては、過去最大の大きさで、設置場所は、人目に止まり、効果も大きいと期待できます。尚、今年8月中旬から、「学校法人誠広学園」のご厚意により、休日(土・日・祭日)に黒野城見学利用者に、駐車場の提供も頂いております。



平成24年10月6日除幕式



平野恭弘会長の挨拶



鎧姿(松井直樹さん)で盛り上げ

案内板仕様

- フレーム：ステンレス角パイプ・ヘアーライン仕上げ
- 案内板：表=黒野城主の概要と城下町案内地図をプリント印刷、裏=蛇の目紋シール貼り
- サイズ：幅1760mm、高さ1220mm



黒野小学校児童による初の訪問紙芝居

2012.10.20
黒野城と加藤貞泰公研究会
見学者：郷孝夫会長
郷和彦紙芝居部会長
岡野正弘紙芝居担当

日時：平成24年10月13日(土) 12時30分～13時
場所：特定非営利活動法人 障害者自立センター つっかいぼう(吉田朱美理事長)
就労継続支援B型事業所 ビー・カンパニー
岐阜市古市場79-1

研究会が黒野小に寄贈した紙芝居「黒野のお殿さま」にて、6年生の児童がビー・カンパニーを訪問して実演を行った。

去る9月8日(土)黒野会館の歴史講座で黒野小学校の児童9名による初めての紙芝居が実演されたが、今回は希望者が大幅に増え、16名が入れ替わって、語りをつとめた。

当事業所主催の「ふれあいまつり」(延べ200人参加)に遊びに来た人たちも、最後まで熱心に聞き入った。

事業所管理者の服部昌紀さんから、大変いい企画になった。協力をいただき継続的伝統行事になるとありがたいという話があった。



16名の児童と黒野小林茂男校長・鷲見教頭・6年担任教員3名・服部昌紀さん

「黒野会館まつり」に出展

日 時 : 平成24年10月27日(土)・28日(日)
場 所 : 黒野公民館

2012.12.08
黒野城と加藤貞泰公研究会



研究会展示場全景・手作りヨロイが引き立つ

地域みんなのふれあいの場として、黒野公民館を利用している団体が、活動成果を披露・展示する会館まつりに、研究会では昨年に続き2回目の出展。見学者に歴史の伝承、活動の成果をパネルなどで公開した。

- | 出展品 | 内容 | 数量 |
|-----|----------------------------|----|
| 1. | 黒野城古図・家中屋敷古図・黒野村古図 | 7点 |
| 2. | 黒野城・城下町推定図 | 3点 |
| 3. | 会員模写肖像画、軸 | 6点 |
| 4. | 写真と解説(城跡・尉殿堤) | 2点 |
| 5. | 美濃古図 | 2点 |
| 6. | 会員製作のヨロイ | 1式 |
| 7. | 槍模型 | 2本 |
| 8. | 蛇の目紋瓦 | |
| 9. | 城模型 | |
| 10. | 文化祭案内パンフ・黒野城リーフレット・活動実績資料他 | |

実行委員

○浅野正剛
平井昭彦
河口耕三
名知 勲
澤島勝美
河合正幸
戸川文男



説明を聞く見学者



平井さんが模写した肖像画は郷土に関係した人物が身近に感じる



会場風景



配付案内資料(3種類)・「黒野史誌」販売

清掃活動1

日時：平成24年11月1日(木) 9時～12時
場所：黒野城跡・多賀神社裏外堀

2012.12.08
黒野城と加藤貞泰公研究会

11月6日に愛媛県大洲市の大洲史談会一行約30名が黒野城などに訪問されるため、遠方からの来客に恥ずかしくないように、会場や見学予定先の神社、堀跡の清掃を実施した。

清掃箇所

- (1) 黒野城跡
小樹木の剪定
- (2) 黒野会館分館
不要張り紙類撤去、不要資材撤去
- (3) 館内
張紙・不要掲示物撤去、清掃
- (4) 周辺
ゴミ、不要物撤去
- (5) 多賀神社裏の外堀内外・境内
草刈り、枯竹清掃、ゴミ拾い

清掃参加者
・研究会員11名

参加者

○郷 孝夫
河川耕三
工藤治示
松井直樹
郷 和彦
浅野正剛
名知 勲
平井昭彦
佐部利浩
河合正幸
信田朝次

- ・研究会による清掃作業は、初めての体験。
来客を迎えることから清掃作業行うきっかけとなった。
- ・史跡や公共施設の環境整備にボランティア活動で貢献。



黒野城跡に集合の会員・草刈り機など持参



多賀神社境内東裏の堀跡前
見学出来るように雑草刈り・堀内のゴミ、枯竹など清掃



公園内の落ち葉清掃(除幕式周囲)



清掃後のゴミ袋と会員

紙芝居「黒野のお殿さま」出張実演

2012.12.08
黒野城と加藤貞泰公研究会

日時：平成24年11月3日(土) 13時30分～14時
場所：特別養護老人ホーム 黒野あそか苑
岐阜市黒野404-1

研究会員による外部で初の紙芝居実演が行われた。
あそか苑では、行事のひとつに紙芝居と早田太鼓の実演を企画。
黒野校区文化祭の合間に、練習を重ねてきた2名の研究会員にて実演が行われた。朗読は、大人向け用に文章をアレンジ。入居者や介護職の方々約60名ほどが観覧したいへん好評であった。



実演者の郷和彦さん・岡野正弘さん



実行委員

- 郷 和彦
- 岡野正弘



車いすの入居者などで一杯のロビー

第17回 「黒野校区文化祭」に出展

日時：平成24年11月3日(土)・4日(日)
場所：黒野小学校体育館

2012.12.08
黒野城と加藤貞泰公研究会

2年毎に開催される黒野校区自治会主催の文化祭。前回に引き続き2回目の出展を行う。今回は、多数の来訪者に見て頂くように従来の展示だけではなく、実演行事を2件企画、実施。また案内パンフを発行し、市民の関心と見学者の増加を図る。

- (1) 展示エリアの拡大・・・ジオラマなど初の展示物で、展示エリアを幅11m頂く。
- (2) 紙芝居実演・・・「黒野のお殿様」を1日2回、計4回実演し、歴史文化の普及活動を行う。
- (3) 岐阜武将隊の実演・・・他団体とのコラボレーションで文化祭の盛り上げを図る。



紙芝居「黒野のお殿さま」を延べ4回実演

実行委員
○浅野正剛
平井昭彦
河口耕三
名知 勲
澤島勝美
河合正幸
戸川文男



研究会の展示状況(奥のパネル、台の全幅が展示ブース・全45点と大洲資料35点)



岐阜武将隊8名の参加で会場を盛り上げる



会員の名知さん
手作りの陣羽
織を着て説明

黒野城研究成果、ジオラマなど多数を展示
会員の当番による説明員を2交代で、2名が担当

黒野城の歴史を発掘し、地域の未来へ繋げる事業
第17回 黒野校区文化祭に出展

1. 黒野城の研究成果を展示 (ジオラマ・古図・城郭推定図など)
2. 紙芝居「黒野のお殿さま」実演
3. 岐阜武将隊 信義徹誠軍 来たる!(4日)

日時：11月3日(土)・4日(日)
会場：黒野小体育館・武将隊演技は屋外

黒野のお殿さま
紙芝居

黒野小の子供たちが城主の指導で、大城守

3日(土) プログラム
紙芝居 紙芝居
展示 (ジオラマ・城図類・手作り品など)

4日(日) プログラム
紙芝居 紙芝居
展示 (ジオラマ・城図類・手作り品など)

展示物
・城下町ジオラマ
・新発見の黒野城古図
・黒野城の城郭推定図
・黒野城の古図(複製)
・黒野城の古図(複製)
・黒野城の古図(複製)
・黒野城の古図(複製)
・黒野城の古図(複製)

岐阜市民活動支援事業の補助対象事業
主催 黒野城と加藤貞泰公研究会

案内パンフ (単色/発行810枚)
校区内外の関係先に配付

大洲史談会御一行来訪

日 時 : 平成24年11月6日(木) 14時～19時30分
 場 所 : 黒野城跡・黒野地域

2012.12.08
 黒野城と加藤貞泰公研究会

11月6日に愛媛県大洲市の大洲史談会一行27名が黒野に訪問。「研究会」と「大洲史談会」は初めての交流会を行った。

行事

- (1) 14:00～ 加藤貞泰の碑建立除幕式・絵画贈呈式・・・黒野城跡
- (2) 14:30～ 研究成果物の展示説明会・・・・・・・・・・黒野会館分館
- (3) 15:30～ 見学会・・・・・・・・・・・・・・・・・・史跡・城下町
- (4) 17:00～ 懇親会・紙芝居実演など・・・・・・・・・・貴久家

- 関係者及び市民約80名参加
- 関係者など53名参加
- 関係者43名参加
- 関係者48名参加



歓迎・黒野城跡へようこそ



岐阜市へ寄贈の大洲城絵画
 史談会顧問上杉潤氏の画(分館に展示)



加藤貞泰公顕彰碑・除幕式 関係者集合



除幕式風景 一般市民十数名もNHKTVニュース等を見て見学



大洲史談会建立の碑



自作の鎧兜でお迎え

歴史的な繋がりがある愛媛県大洲史談会との交流会が初めて実現した。岐阜市歴史博物館黒田館長、市教育委員会内堀課長等の来賓と先祖が光泰家臣で大洲にゆかりのある正村さんや、長良歴史クラブなども参加され、幅広い交流が行われた。



研究成果物の展示説明会(3名により説明)



4班に分かれて本丸散策(4名が案内)



国鳥家の屋敷を見学(会員も初の入門)



懇親会会場 於貴久家 紙芝居実演など

紙芝居「黒野のお殿さま」・末広町の老人会で上演

2013.02.02
黒野城と加藤貞泰公研究会

末広町の老人会から紙芝居上演の要望が有り、訪問上演が行われた。
会場は末広町の公民館で、老人会の皆さんら43名が参加。
輪投げゲームなどが行われ、その後に紙芝居を上演。語り部は郷和彦さん。
終了後、郷孝夫会長から黒野城についてのお話がありました。
老人会の皆さんには初めての上演で、郷土歴史を伝え、活動が広がる。
お昼は皆さんと一緒に弁当をご馳走になる。

日時：平成24年12月12日(水) 11時20分～13時30分
場所：末広町公民館

訪問上演：郷和彦さん
黒野城について：郷孝夫さん
取材：河口耕三



老人会の田浦副会長から紙芝居を紹介



上演中の郷和彦さん



2012.12.12



黒野城について説明の
郷会長

県道大野線の洞稲木の信号東の末広公園に隣接の公民館。かつては、交人の公民館を移築して使用していた写真が玄関に掲げてありました。

貴久家さんに黒野城弁当



黒野城弁当

城主加藤貞泰公の家紋
蛇の目紋

美濃国の食材
岐阜の伝統米ハツシモ
(料理は季節により変わる場合があります)

※ 昼食をご利用のお客様は、「黒野城」見学の駐車場としてご利用下さい。

1680円

黒野城リーフレットに貴久家さんで昼食利用の見学者に向け、駐車場案内と黒野城弁当のチラシを挟んでいます。

また研究会に寄附金を頂いています。

貴久家さんでは各テーブルに弁当メニューとリーフレットが置かれています。

研究会から配布の部数
平成24年8月7日 500部
12月8日 500部

平成24年10月産の岐阜ハツシモから貴久家さんでメニューの表示を開始
原稿は研究会にて作成

県内ぐるり お店めぐり

日本料理店「貴久家(きくや)」 岐阜市

岐阜市の三大城跡地の一つとされる黒野城跡の城下町として栄えた黒野地区に店を構える。黒野城を広く知ってもらおうと、地元の歴史研究会と黒野城弁当(1680円)＝写真＝を開発し、今夏からメニューに加えた。城主加藤貞泰の家紋「蛇(じゃ)の目紋」をモチーフに、ご飯にゴマをまぶすなどユニークな弁当が歴史好きの人に喜ばれている。

黒野城PRの弁当開発

黒野城弁当は、岐阜の伝統米ハツシモなど米や野菜に県産品を使用。城郭をイメージした升仕切りに天ぷら、煮物、刺し身などを盛り、古風な雰囲気を持たせた。北村浩二支配人(45)は「少しでも地域のお役に立てれば」と話す。

昼は、日曜、祝日を除いて提供する昼食(980円)が人気。夜は本格会席コースをそろえ、120人が入る大部屋も備える。(河合修)

乗行 見聞 (第3種郵便物認可)

ちよっぴり影薄いけど...

黒野城弁当 手堅い人気

岐阜市黒野の市史跡・黒野城跡の近くの日本料理店貴久家が、城にちなんだ黒野城弁当を販売している。同じ市内にある織田信長の岐阜城、江戸時代を通じて大名が住んだ加納城に比べ、ちよっぴり影の薄い城の歴史をPRする。

岐阜・城跡近くの料理店販売

黒野城は一五九七年後に米子城(黒取丸に見え、県内産の年、長良川の治水を成 粟米子市)へ移り、黒野城は廢城になった。功させ、地元で名君と野城は廢城になった。天ぷらや野菜の炊き合わせ、刺し身など五品(一五八〇〜一六三三)に築城。貞泰は十、高き五・四の土を並べた。県ブランド米ハツシモの「飯を黒墨や堀の保存状態の良いわんに盛り、真ん中に黒ゴマで丸を描いてさうじ。

県ブランド米使用

黒ゴマで家紋「蛇の目」表現

貴久家は、本丸から加藤貞泰の家紋「蛇の歩いて五分、かつて馬目を表現した。千六場だった場所の南隣に百八十円。

北村浩二は「決して支配人の北村浩二派手ではないがこのん(あ)が、地元の人にとって大事研究会から「城跡観光な歴史ロマンがある」の目玉を」と頼まれ、とを知ってほしい。今年八月、弁当をメニューに追加した。毎日必は貴久家 電話0583 ず三食ほど売れる「手(2339) 4312」堅い人気」が続いている。

蛇の目紋を表現した「飯(手前)などが並ぶ黒野城弁当 岐阜市黒野南の貴久家で

2012年12月30日 中日新聞

← 2012年10月26日 岐阜新聞

「市民活動支援事業」事業報告会

平成24年度の事業報告会は、プロジェクトによる表示と、揃いの陣羽織で6名の各事業幹事長が本年度の活動報告を4分の持ち時間で順に発表。報告資料20部とリーフレット40部を提出。

「岐阜市市民活動支援事業」に参加して2年度目の報告会。昨年に続き、複数名で報告会に参加した。2日前に黒野会館にて発表練習を行い本番に備えた。

審査委員の藤沢眞一氏(岐阜市自治会連絡協議会「住民自治活性化委員会」委員長)と藤井しのぶ氏(岐阜市住民自治基本条例検討委員会委員)から講評があり、報告方法含め、活動内容と成果に高い評価の講評を頂いた。よって質問事項は無かった。

他団体との交流会が終了後に行われ、研究会のメンバーは山崎仁朗委員長(岐阜大学地域科学部准教授)、藤沢眞一氏、「岐阜武将隊」2名、「鏡島 史跡と花文化研究会」の皆さんなどと交流が出来た。

日時：平成25年2月16日(土) 9:40～12:20(午前の部)
 場所：柳ヶ瀬あい愛ステーション
 主催：岐阜市市民参画部 市民協働推進課
 岐阜市NPO・ボランティア協働センター

研究会発表者(発表順)：戸川文男・関谷太治・河口耕三・郷和彦
 名知勲・浅野正剛・郷孝夫
 研究会参加者：富樫幸一顧問・信田朝次顧問



藤沢眞一氏から講評を聞く発表者



陣羽織(報告会で初)と戸川さんの合図で揃って「礼」に会場が感嘆



報告を聞く5名の審査委員の先生方→



交流会にて他団体を講評の郷会長

紙芝居「黒野のお殿さま」・三又白寿会で上演・講演

2013.03.16
黒野城と加藤貞泰公研究会

日時：平成25年2月24日(日) 11時～12時
場所：三又公民館

会場の三又公民館にて白寿会の皆さん15名に紙芝居を上演。三又は会員神山順子さんの地元で郷和彦さんの拍子木のあと、順子さんが語り役を演じる。(この日のために家で練習を積んだ成果が発揮されました)

その後、「黒野のお殿さま加藤貞泰公」の補足講座を郷さんが務める。4枚の配付資料にて「4万石は今いくら？」など史実を深める解説を行いました。

終了後、貴久家「黒野城弁当」(仕出し)をご馳走になり、また研究会に謝礼も頂戴しました。紙芝居にて郷土史を伝承できて三又の皆さんに喜んで頂き有意義な上演会でありました。



上演に先立ち、三又白寿会会長の長井さんが紹介



語り部の神山さん・紙を引く郷さん



紙芝居の補足説明などを講演の郷さん



上演状況



昨年11月の大洲史談会除幕式に参加された神山四郎さんも御夫婦で出席 →



紙芝居の補足説明など

清掃活動2

日時：平成25年2月25日(月) 9時～10時
場所：黒野城跡

黒野城と加藤貞泰公研究会



長良川文化フォーラムを案内の前に案内者による
ゴミ拾い実施する。

参加：研究会8名
久世工業4名
岐阜市役所鳥本氏



建設中のトイレ



トイレ建設中の久世工業の皆さんも参加。



「長良川文化フォーラム主催 わが町を知ろう ～黒野城を中心としたまちなか歩き～」の案内役

2013.03.16
黒野城と加藤貞泰公研究会

- 日時 平成25年2月26日(火) 午前9時～12時
- 内容
- ・長良川の歴史文化を継承しようと取り組む「長良川文化フォーラム」が、市民に地元の魅力について知ってもらおうと企画。岐阜駅発岐阜バス1台の一行28名(長良川文化フォーラム14名、市広報一般募集14名)を9時に黒野城跡で迎える。研究会から挨拶後、城下町ほぼ全域を12時バス乗車までの3時間、まちなか歩きの案内をしました。
- 配付資料
- ・コース案内地図・パンフ2種・かわら版(信田氏)・光泰と貞泰の足跡・透明ファイル
- 案内者
- ・郷孝夫・河口耕三・郷和彦・名知勲・平井昭彦・浅野正剛の6名。交通安全に松井直樹・佐部利浩・河合正幸の合計9名。
- 考察
- ・東北鬼門側の新コースを事前調査し案内者にてコース確認、案内マニュアルも作成。分単位のスケジュール作成、前日清掃(8名)、訪問先事前許可(見学・トイレ)を行う。余裕時間がないハードスケジュールであったが、快晴の天候にも恵まれ、無事に予定通り案内が出来ました。



全員集合



案内コース(赤ライン)



CCN放送 3月1日エリアピク্সで放送



黒野城跡公園で挨拶



明善寺の案内板前にて



明善寺本堂格天井絵(伊原宝水画)100枚観賞



終了後、バス内で
郷会長の挨拶で終了

紙芝居「黒野のお殿さま」・寿楽苑で上演

2013.03.16
黒野城と加藤貞泰公研究会

日時：平成25年3月12日(火) 14時30分～15時12分
場所：社団福祉法人 岐阜県福祉事業団 岐阜県寿楽苑 西郷中2町目



今津苑長から「3月の誕生会」挨拶

寿楽苑の「3月の誕生会」にて今津尚人苑長から3月度の誕生者3名(102歳・95歳・92歳)を祝う挨拶。その後、藤井進行担当から紹介があり、紙芝居上演。
上演者：挨拶と語り部 郷孝夫会長・拍子木 神山順子・説明 郷和彦・取材：河口
観覧者：入居者、デイサービスの皆さん46名。職員9名

当苑では初の紙芝居。入居者の皆さんは昔懐かしい拍子木などで昔の思い出が蘇ったようでありました。陣羽織は紙製で会員手作りの説明で手を触れ、確紙なのか確かめる人もいた。

終了後、苑内喫茶で飲物を頂き、今津苑長と懇談。今年8月第一木曜日の夏祭りなどに再度訪問予定の話が弾む。



5点セットの紙芝居にて上演中の郷会長と神山順子さん



終了後、石高についてや紙芝居制作に小学生などが参加して完成したことを郷和彦さんが説明。熱心に聞き入る皆さん。

紙芝居「黒野のお殿さま」・本巢市「古墳と柿の館」で上演

2013.03.31

黒野城と加藤貞泰公研究会

日時：平成25年3月29日(金) 14時00分～16時00分
場所：本巢市「古墳と柿の里」

本巢市教育委員会社会教育課 文化・スポーツ振興係の恩田氏らと船来山ボランティアの皆さんらが、船来山の伝説を紙芝居にするために、黒野城の紙芝居作りを参考にしたいと要請があり、当日は研究会4名にて訪問上演を行った。また継続して、紙芝居作りの経験からポイントとなるノウハウを配付資料などにより郷和彦氏から説明された。

本巢市では4月27日～5月6日間の親子歴史体験教室で、延べ5回ほど、当館の展示場内でボランティアによる上演が予定されている。(市のポスターで発行済み)

次回、4月5日にも2回目の打合せ会に出席要請もあり郷和彦氏が参加予定。



ロビーの入口で9名のボランティアや市職員に上演。

